いいたて社協だより
第75号

わくわく

雛人形七段飾り寄付（２月 10 日）・関連記事は、５ページに掲載

【目　　次】

・生活支援相談員コーナー「訪問先での様子」…… ２～３
・各団体の活動状況「老人クラブ連合会」、できごと「防災用品寄贈」…… 4
・物品寄付「靴下カバー、飲料水他」…… 5
・令和３年度赤い羽根共同募金運動実績報告 …… 6
・お知らせ①～②「日本赤十字社社資募集、心配ごと相談他」…… ７～８

☆ホームページもご覧ください

飯舘村社協　検索

スマートフォン等でご覧になりたい方はこちらから➡

生活支援相談員コーナー

今年度もみなさまのお宅を訪問しています！

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により各方部でのお茶のみ会は中止となりましたが、生活支援相談員は戸口訪問を中心に継続して訪問活動を行ってきました。村内及び村外で生活する村民のみなさんの生活支援・見守り活動等を通して、日常生活での困りごとの相談や生活の様子などさまざまな話を聞いています。その中で困った相談以外にもみなさんの頑張っている姿を見ることができています。今回は、訪問先での様子を紹介します。

幸美さんは101歳です。約６年前に現在住んでいる所に引っ越してから毎朝、起床後に般若心経を書いています。書く量は日によって違いますが、毎日欠かさずやっています。

その他に、折り紙や包装紙などを使った作品を自分で考えながら工夫をこらして制作しています。その理由は、「家族に迷惑をかけないように、認知症予防のために」と話をしていました。（２月24日訪問）

桑名幸美さん【草野・福島市在住】

忠夫さんは避難前からナンプレ（数字を使ったパズルゲーム）を始め、15年ほど続けています。「食事中や１日８時間以上やってしまったときもあり妻の幸子さんに叱られたこともあったので今は気を付けている」と笑いながら話をしていました。

幸子さんは避難前、行政区で作品を作り文化祭などに出展していました。避難先では、近くに住んでいた同じ行政区の人を中心にグループを作り、作品作りに熱中しました。今まで多くの作品を制作し作品展などに出展し、その作品等は知人などにプレゼントしたため現在はあまり残っていないということです。（２月28日訪問）

川里忠夫さん・幸子さん【宮内・福島市在住】

菅野正門さん・シゲノさん【小宮・南相馬市在住】

菅野さん夫婦は、震災前、農業と林業を営み、トルコキキョウ等を栽培していました。現在は、避難先で広い畑に年間を通してさまざまな野菜を作って楽しんでいます。野菜は、自給自足で、今は冬季間の寒さ等から作物を守るために不織布のトンネル（パオパオ）を使い、にんにくを栽培しています。トンネルの中をのぞいてみると新芽が20㎝位に育っていました。作った野菜は、知人や近所の方にあげることはあるが、販売はしていないそうです。（2 月 24 日訪問）

ヨシイさんは昨年 10 月に帰村し、一人暮らしをしています。外に出て運動ができないため、村社会福祉協議会から健康体操（百歳体操）のおもりを借り、起床後から夕方まで足首に付けて生活しています。おもりの重さは１本 200 ｇあり、２本ずつ足に付けています。１月頃から始めたが、「少し筋力が付いた気がする」とうれしそうに話をしていました。

また、家で過ごすことが多く毎日のように編み物をして楽しんでいます。

（2 月 28 日訪問）

千葉ヨシイさん【草野】

俊夫さんは、20 年前に大阪から購入した洗濯物を干すピンチハンガーを大切に使っています。訪問した日は、壊れた部分を修理していました。「何度も治しながら今まで大事に使ってきたものなんだ」と話をしていました。

阿部俊夫さん【前田】

また、友人からの勧めもあり、凍み大根を作って今回初めて村の道の駅に出荷したそうです。その凍み大根を使った煮物を作るなど、料理上手で、一人暮らしのため食事や健康面に気をつけて生活をしています。（2 月 28 日訪問）

各団体の活動状況 ⑦ 老人クラブ連合会

１月14日、いいたて希望の里学園で「世代間交流事業」として、１年生を対象に小正月の行事「だんごさし」が行われました。会員７名が参加し、だんごさしの由来やだんごの作り方を子どもたちに教えながら一緒に作業しました。丸めただんごがゆであがったら、ミズキの枝に挿し、船せんべいの鯛や小判などを飾り付けました。完成した華やかな「だんごさし」は、校舎内に飾られました。「今年も子どもたちと楽しく交流することができてよかった」と会員のみなさんは話をしていました。

できごと 防災用品寄贈

３月９日、株式会社ネクセライズ（東京都）様より防災用品一式（ベストチョイス）を当協議会に寄贈していただきました。贈呈は、当協議会事務所（陽だまりの家）で行われ、株式会社ネクセライズ代表取締役社長西山和幸様より「ぜひ、村民の皆さまに何らかのお役立てをしたい」と齊藤修一会長に防災用品一式が入ったオレンジ色防災バッグが手渡されました。（写真左下）齊藤会長は「災害時及び村民の皆様への啓発用として大切に活用します」と謝辞を述べました。

▲西山社長（左）より齊藤会長（右）へ防災バッグが手渡されました

▲防災バッグの中には、災害に備えて保存水や懐中電灯等が入っています

みなさまからのあたたかいご支援に感謝します

昨年末から今年２月にかけて、賞味期限が近付いた災害時用備蓄飲料水や靴下カバー等の物品を以下のとおり寄付していただきました。みなさまからのあたたかいご支援に感謝申しあげます。

No.	寄付者氏名	物品名
1	千葉県様（ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸちば様経由）	災害時用備蓄飲料水
2	永末 美代子 様（東京都）	靴下カバー
3	渡邊 とみ子 様（前田八和木）	いいたて雪っ娘のかぼちゃスープ
4	中島 栄重 様（南相馬市）	手押し車
5	目黒 欣児 様（大久保外内）	雛人形七段飾り

飲料水や靴下カバー等は、当協議会で訪問している世帯やサポートセンター利用者へ配付しました。また、手押し車はサポートセンター内で利用者のために活用させていただいています。雛人形については、２月 10 日～３月３日まで当協議会事務所（陽だまりの家）で飾り、来客したみなさんの心を癒していました。（表紙写真）

左上が目黒欣児さん、職員と一緒に雛壇飾りを囲んで記念撮影しました。倉庫に眠ったままの雛人形を活用して欲しいと寄付していただき、目黒さんに協力していただきながら飾り付けしました。近年、大きな雛壇を飾る家庭が少なくなってきている中で、間近で見ることができ職員一同感動しました。

みなさんのところにお届けしました！

【飲料水】

【靴下カバー】

【かぼちゃスープ】

赤い羽根共同募金運動

ご協力ありがとうございました

飯舘村共同募金委員会では令和３年１０月１日から「赤い羽根共同募金運動」を展開し、多くのみなさまに募金のご協力をいただきました。心より御礼申しあげます。

今回、お寄せいただいた募金は、福島県内の福祉事業や村の地域福祉事業等に活用させていただきます。

募金方法	一般募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	0円	11,300円
法人募金	52,000円	274,000円
学校募金	0円	5,122円
職域募金	140,978円	107,212円
イベント募金	13,648円	0円
その他の募金	6,010円	47,765円
総　額	212,636円	445,399円

ご協力いただいた皆様（敬称省略、順不同）

◆戸別募金

各地域サロン等

◆イベント募金

みんなの作品展

◆職域募金

村役場、学校等
各団体、事業所等

◆学校募金

いいたて希望の里学園

◆その他の募金

各募金箱等

◆法人（事業所）募金

大澤自動車整備工場
飯舘自動車工業
㈱菊池製作所福島工場
㈲北原商店
濱田建設工業㈱
㈲濱田石材工業
あぶくま信用金庫飯舘支店
㈲鹿山電気商会
ヘアーサロンさいとう
いいたて村の道の駅までい館
南東北クボタ飯舘営業所
㈱東栄
㈲渡建工業
㈲福相建設
小宮簡易郵便局
山田電子工業㈲
㈲長谷川電気工事
㈲荒木屋
ゑびす庵
渡辺輪業自動車整備工場
志賀板金外装
㈲佐藤モータース
㈲高橋石材工業
㈲佐藤石材
三坂製作所
嘉藤塗装店
㈲臼石自動車整備工場
㈱英工務店
㈱ハヤシ製作所
㈱カネコ林でんきや
飯舘村森林組合
ヘアーサロン花井
二枚橋郵便局
斎藤運輸工業㈱
理容さかもと
㈱大沢工務店
㈲細川工務店
㈲高橋組
㈲菅野建業
㈱福島石販
㈲高橋製作所
㈲椏久里
㈲大内測量設計事務所

お知らせ①　日本赤十字社社資（活動資金）を募集しています

日本赤十字社福島県支部飯舘村分区（事務局：村社会福祉協議会）では、昨年（令和３年４月～１２月）日本赤十字社社資 (活動資金) の募集をしたところ 60,000 円の善意が寄せられました。令和４年も振込用紙を使用し、日赤社資にご協力をお願いいたします。

日本赤十字社は災害救護活動や奉仕団体の育成、いのちや健康を守る活動（血液事業、医療活動、社会福祉事業など）を行っており、社資はこれらの活動の資金となります。また、社資には税制優遇措置がある他、表彰制度（下記のとおり）もあります。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

※振込用紙**（村の広報物３月２０日号同封）**にご協力いただける金額を記入の上、郵便局・各銀行でご利用ください。

表彰種別	表彰の基準	表彰品
特 別 社 員	一時または数次 (10 年以内) に 2 万円以上のご協力をくださった方	特別社員称号贈与通知書、金色バッジ、陶器製又は樹脂製門標（個人のみ）
支部長感謝状	一時または累計 10 万円以上 20 万円未満のご協力をくださった方	感謝状
銀色有功章	一時または累計 20 万円以上 50 万円未満のご協力をくださった方	銀色有功章（楯）、陶器製門標（個人のみ）、略章
金色有功章	一時又は累計で 50 万円以上のご協力をくださった方	個人：金色有功章、章記、略章 法人：金色有功章（楯）、略章

令和4年度ボランティア保険の受付けをしています

「もしも」の時に備えて、保険への加入をお勧めします！

社会福祉協議会では、ボランティア活動や地域福祉活動中のケガや事故等に備えるため、ボランティア活動保険の受付けを行っています。詳細は、お問い合せください。

【ボランティア活動保険】

活動中に起こったボランティア自身のケガや活動のための行き帰りの途中での事故、活動先で人にケガをさせてしまったときや物を壊してしまったときに補償される保険となっています。年間保険料は、以下のとおりです。

（１名あたり）	基本タイプ	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
保険料	３５０円	５００円	５５０円

※天災・地震補償プランは、災害時（地震・津波・噴火）も補償対象

※特定感染症の補償対象には新型コロナウイルス感染症も含む

※補償期間：令和４年４月１日～令和５年３月 31 日まで
（中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日から令和５年３月 31 日まで）

お知らせ②

心配ごと相談を開催します

弁護士法人鈴木芳喜法律事務所による法律相談を開催します。相談は無料です。

○日　時…４月20日（水）午後１時15分から午後３時まで
○場　所…飯舘村社会福祉協議会
○相談員…弁護士法人鈴木芳喜法律事務所弁護士
○予　約…村社会福祉協議会にお申し込みください。
○申し込み期限…４月15日（金）まで

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付の申請受付期間の延長について

新型コロナウイルス感染拡大等の影響で休業や失業等により収入が減少し、生活資金にお悩みの方（世帯）を対象に一時的に生活資金の貸付けの申請を受け付けており、受付期間が令和４年６月末まで延長となりました。詳細については、福島県社会福祉協議会のホームページをご覧いただくか、村社会福祉協議会までお問い合わせください。
※本資金は貸付金であり、返済していただく必要があります。

あたたかい善意に心から感謝いたします

●ご遺志によるご寄付

・長正　増夫 様（故 長正トメヨ 様）　・横山　芳一 様（故 横山　昭雄 様）
・庄司　　哲 様（故 庄司チヨノ 様）　・大渡　茂男 様（故 大渡　　正 様）

※令和４年１月１日から令和４年２月２８日まで掲載しています。

ありがとうございました

編集・発行
社会福祉法人
飯舘村社会福祉協議会
〒960－1803
福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢571
陽だまりの家
TEL 0244－42－1021　FAX 0244－42－1040
メール：hidamari@iitatesyakyo.com
ホームページ：https://iitatesyakyo.com/

飯舘村社協　検索

編集後記

生活支援相談員の見守り訪問活動を通して、村民のみなさまの笑顔や元気で頑張っている姿を見たり、話を聞いたりすると私たち自身も元気をもらうことができます。何かに夢中になったり、好きなことをやったり楽しんだりすることは大切なことだと思います。今後もみなさまに寄り添った支援を継続していきますので、日常生活等で困っていることがありましたらお気軽にご相談ください。

いいたて社協だよりの発行は、台湾共同募金会からの寄付金を使用させていただいております。